

第3章 デザイン基準

3-1	サイン標準仕様	
3-1-1	サイン標準仕様	9
3-2	本体基準	
3-2-1	歩行者系サイン	10
3-2-2	自動車系サイン	17
3-3	表示基準	
3-3-1	歩行者系サイン	21
3-3-2	自動車系サイン	32
3-4	共通基準	
3-4-1	案内図の表現要素	34
3-5	英文表記基準	
3-5-1	英文表記基準	41

3-1-1 サイン標準仕様

■主な本体仕様

歩行者系サイン

- ・支柱，梁
 - 芯材：ステンレス角鋼管（SUS304）
 - 化粧材：アルミ合金押出型材（6063-T5）をアルマイト処理後，アクリル樹脂系塗料にて焼付塗装仕上げ
- ・表示板：アルミ合金板（5052-H34）をアルマイト処理後，アクリル樹脂系塗料にて焼付塗装仕上げ

自動車系サイン

施設誘導サイン，市境記名サイン（横型）

- ・支柱，梁：スチール角鋼管（SS41）溶融亜鉛メッキ後非黄変性ウレタン塗装仕上げ
- ・表示板：アルミ合金板（5052-H34）アルマイト処理後，アクリル樹脂系塗料にて焼付塗装仕上げ

市境記名サイン（縦形）

- ・支柱，梁：スチール角鋼管（SS41）溶融亜鉛メッキ後非黄変性ウレタン塗装仕上げ
- ・表示板：アルミパンチングメタル板をアルマイト処理後，アクリル樹脂系塗料にて焼付塗装仕上げ

※実施段階では，上記の仕様および基本設計図に基づいて本体設計を行うこととする。

■主な表示仕様

歩行者系サイン

- ・クロマリン印刷同等以上：解像度110線以上。印刷後オーバーコート仕上げ（フッ素樹脂フィルムをコート）
- ・シルクスクリーン印刷：印刷後オーバーコート仕上げ（フッ素樹脂フィルムをコート）

自動車系サイン

施設誘導サイン，市境記名サイン（横型）

- ・文字：カプセルレンズ型反射シートを使用
- ・基盤：カプセルレンズ型反射シートを使用

市境記名サイン（縦形）

- ・文字：ステンレス切り文字

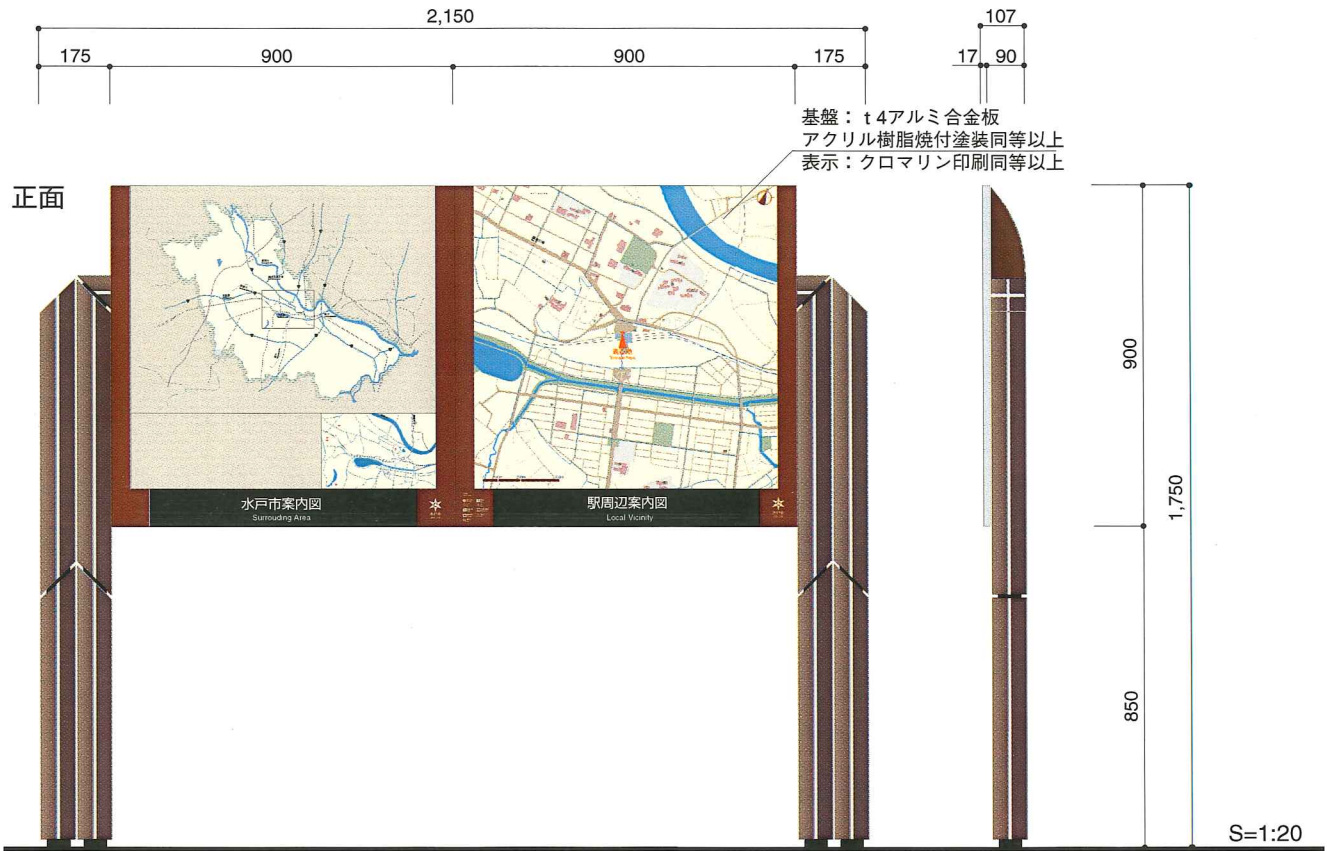
■その他

サインへの貼り紙の対応策として，貼り紙防止フィルム，または塗装を施す。ただし，今後の技術の進歩に応じて最もふさわしいと考えられる手法を予め選定することが望ましい。

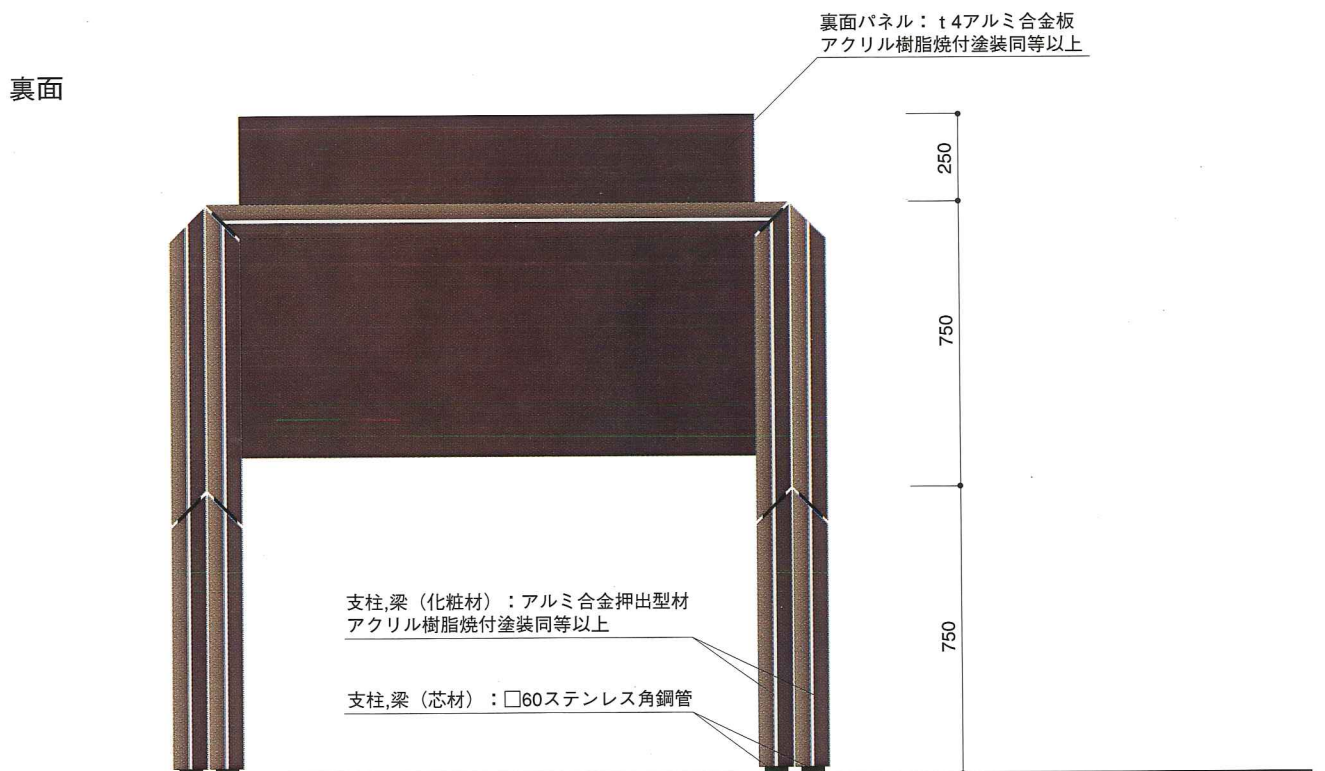
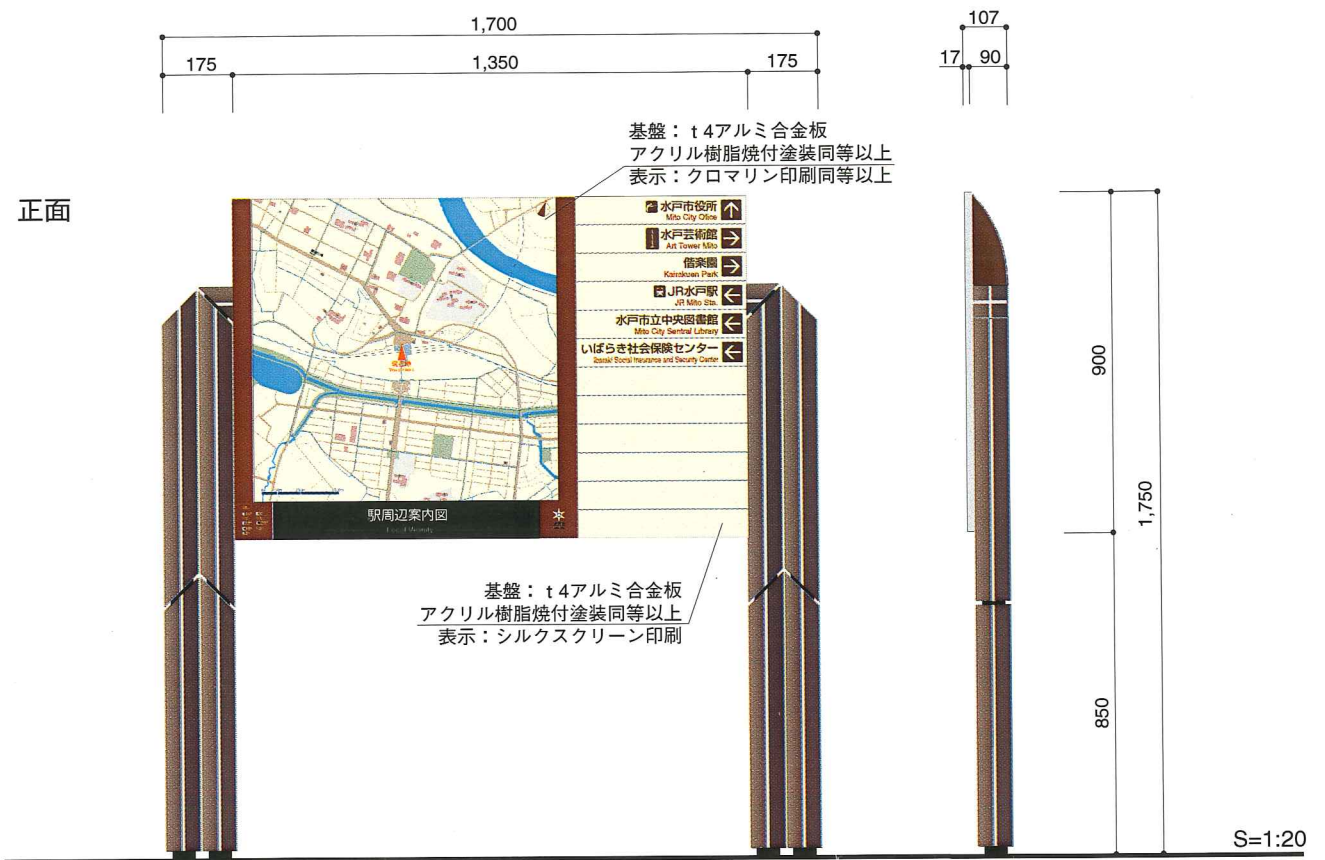
3-2 本体基準

3-2-1 歩行者系サイン

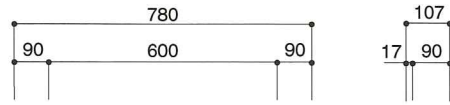
■駅前サイン



■主要地点サイン



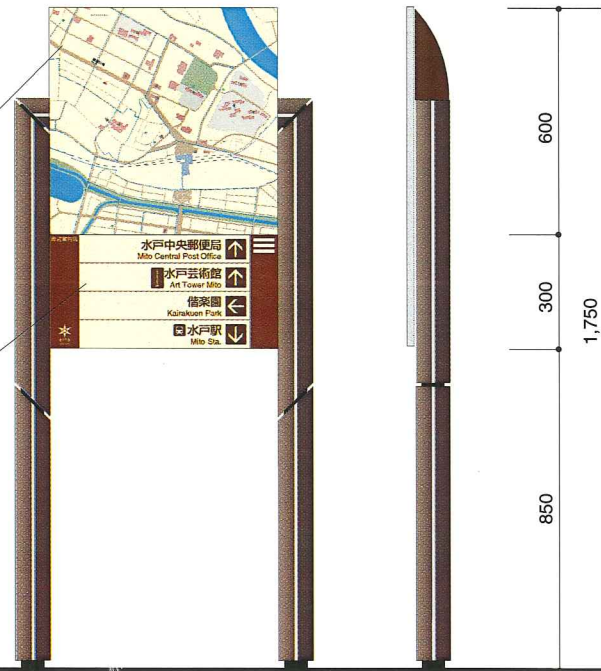
■一般分岐点サイン



正面

基盤：t4アルミ合金板
アクリル樹脂焼付塗装同等以上
表示：クロマリン印刷同等以上

基盤：t4アルミ合金板
アクリル樹脂焼付塗装同等以上
表示：シルクスクリーン印刷



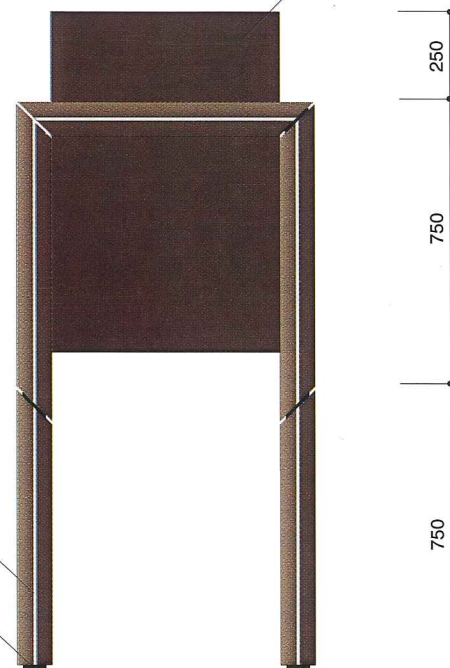
S=1:20

裏面

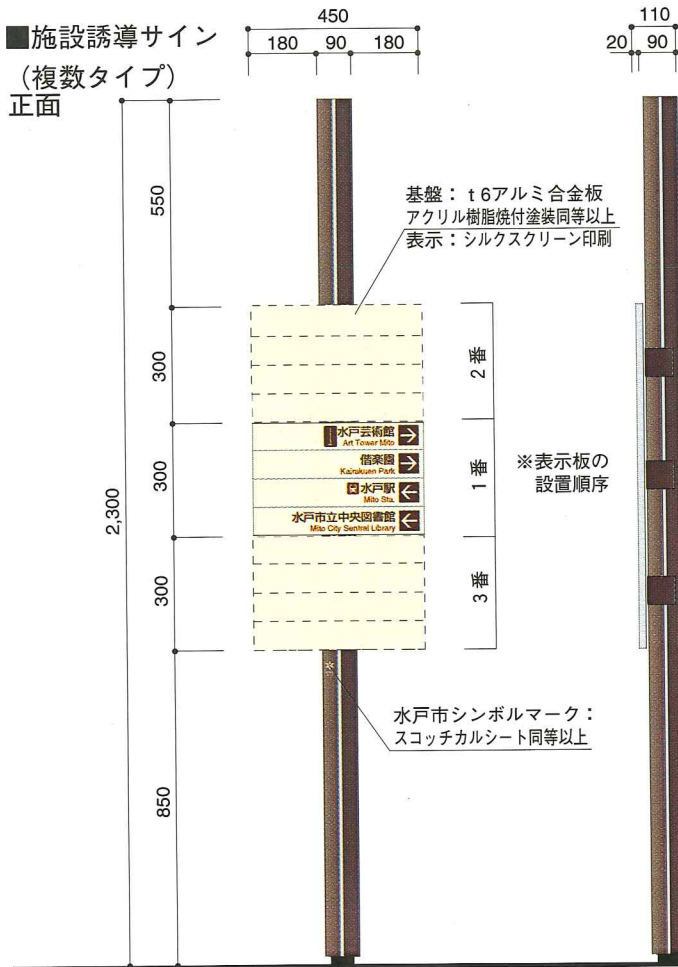
裏面パネル：t4アルミ合金板
アクリル樹脂焼付塗装同等以上

支柱梁（化粧材）：アルミ合金押出型材
アクリル樹脂焼付塗装同等以上

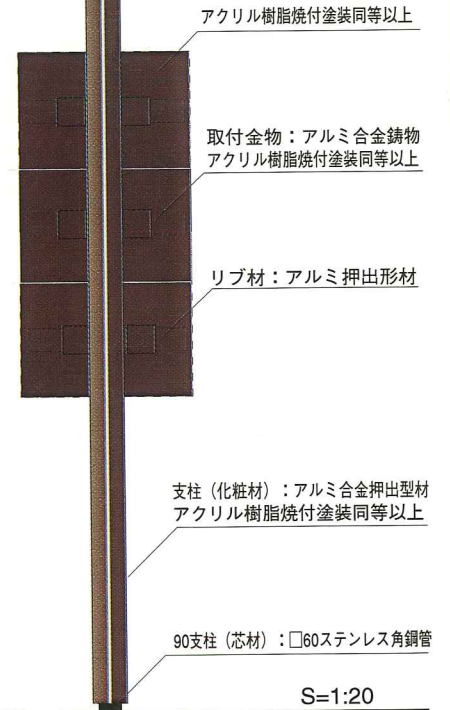
支柱梁（芯材）：□60ステンレス角鋼管



■施設誘導サイン
(複数タイプ)
正面



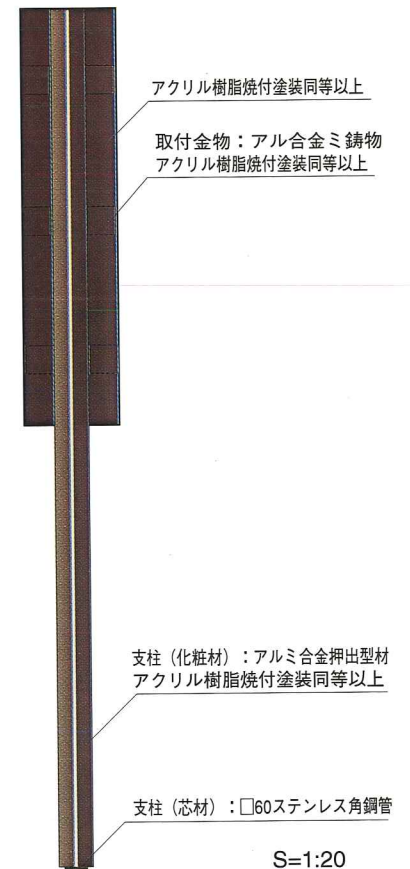
裏面



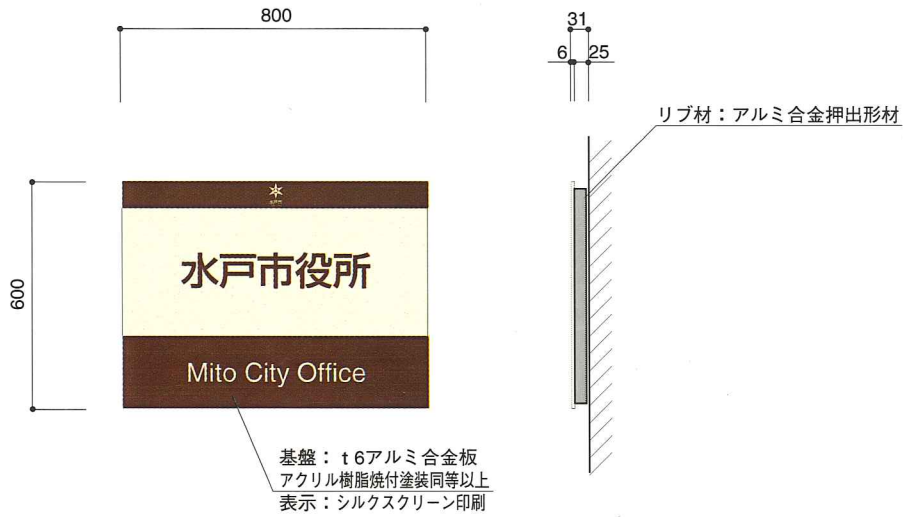
(単独タイプ)
正面



裏面

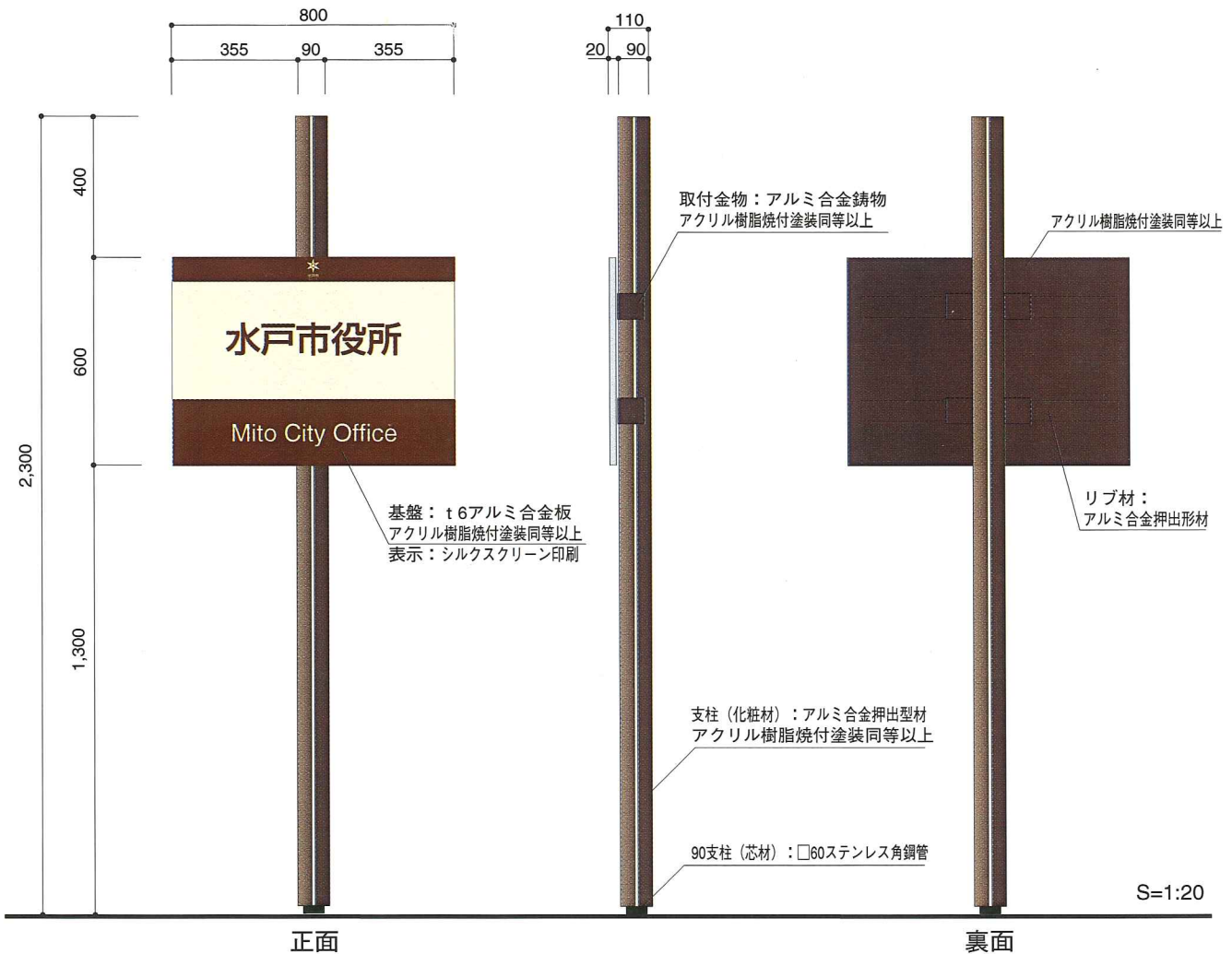


■記名サイン
(壁付けタイプ)

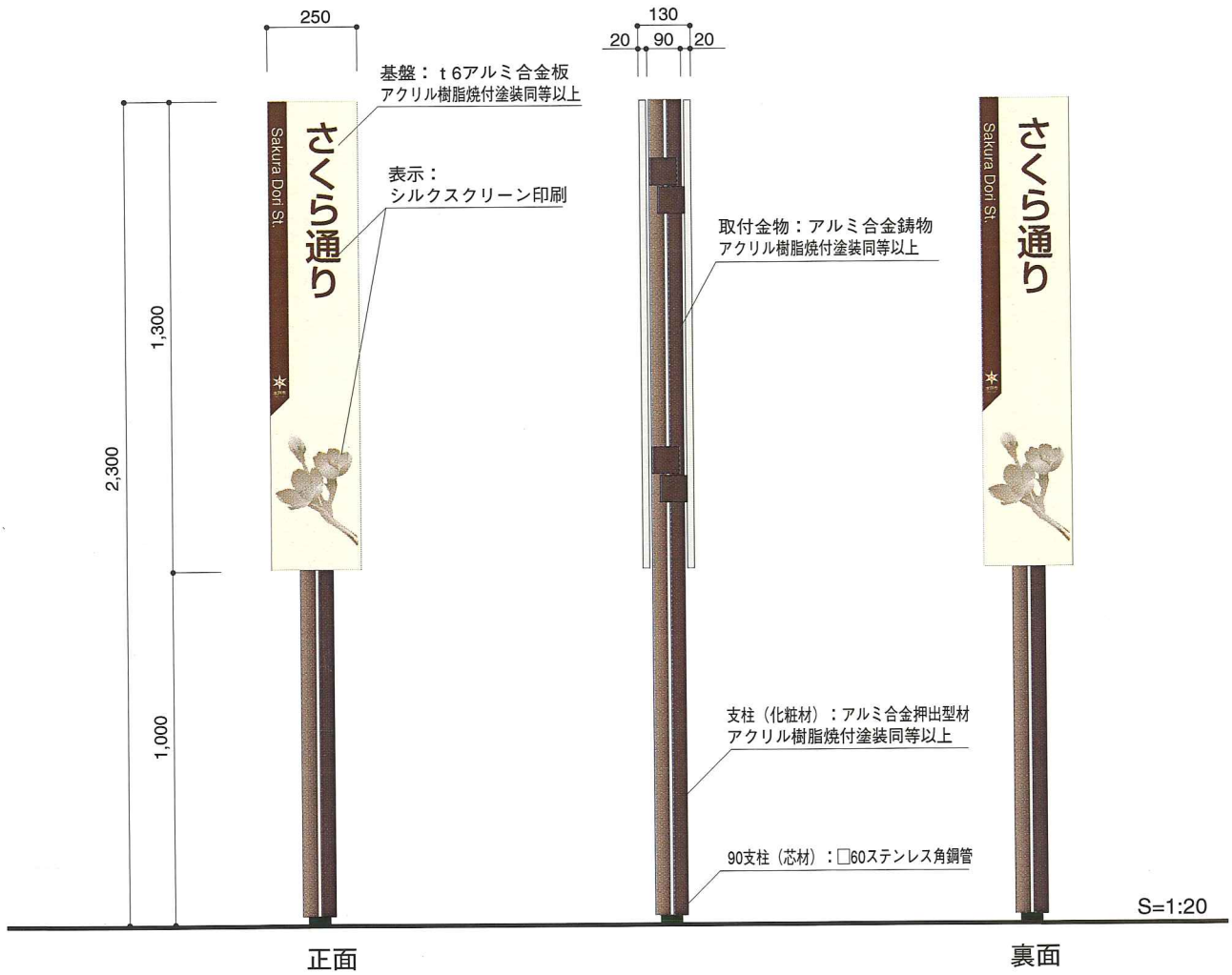


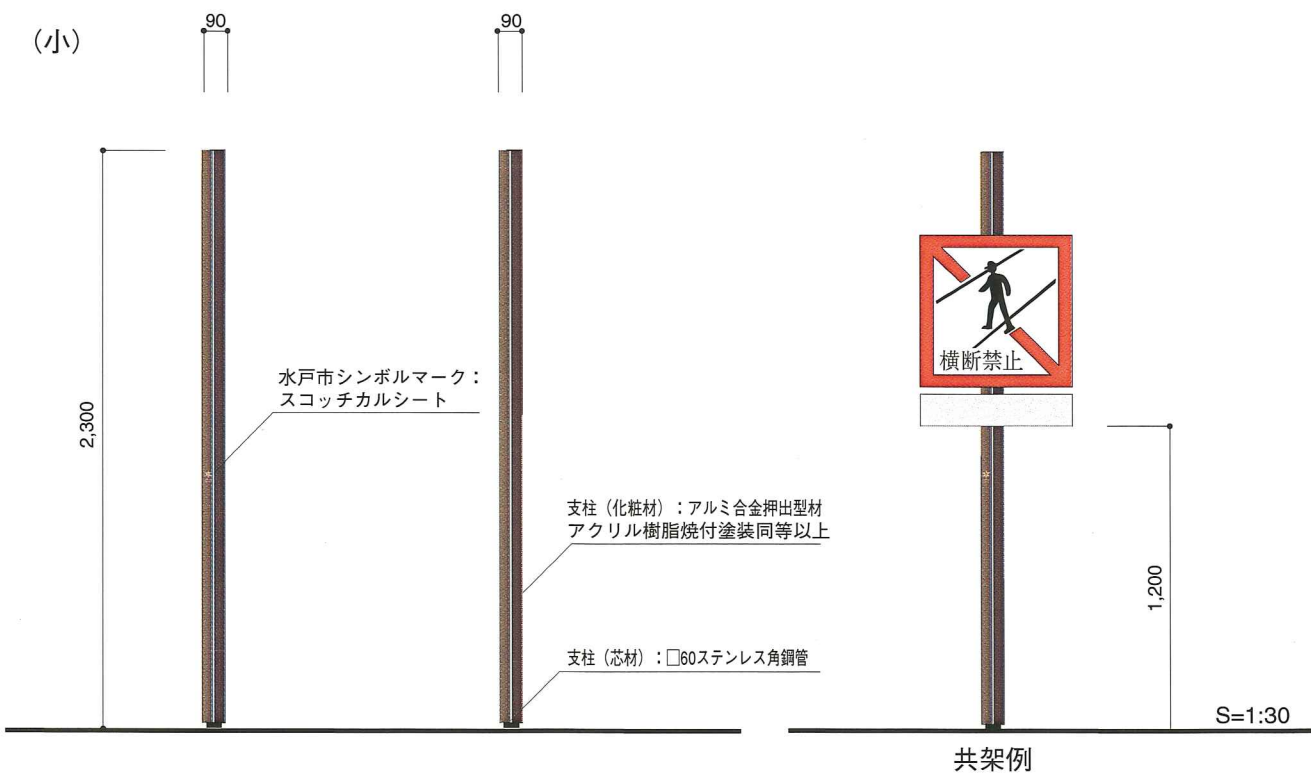
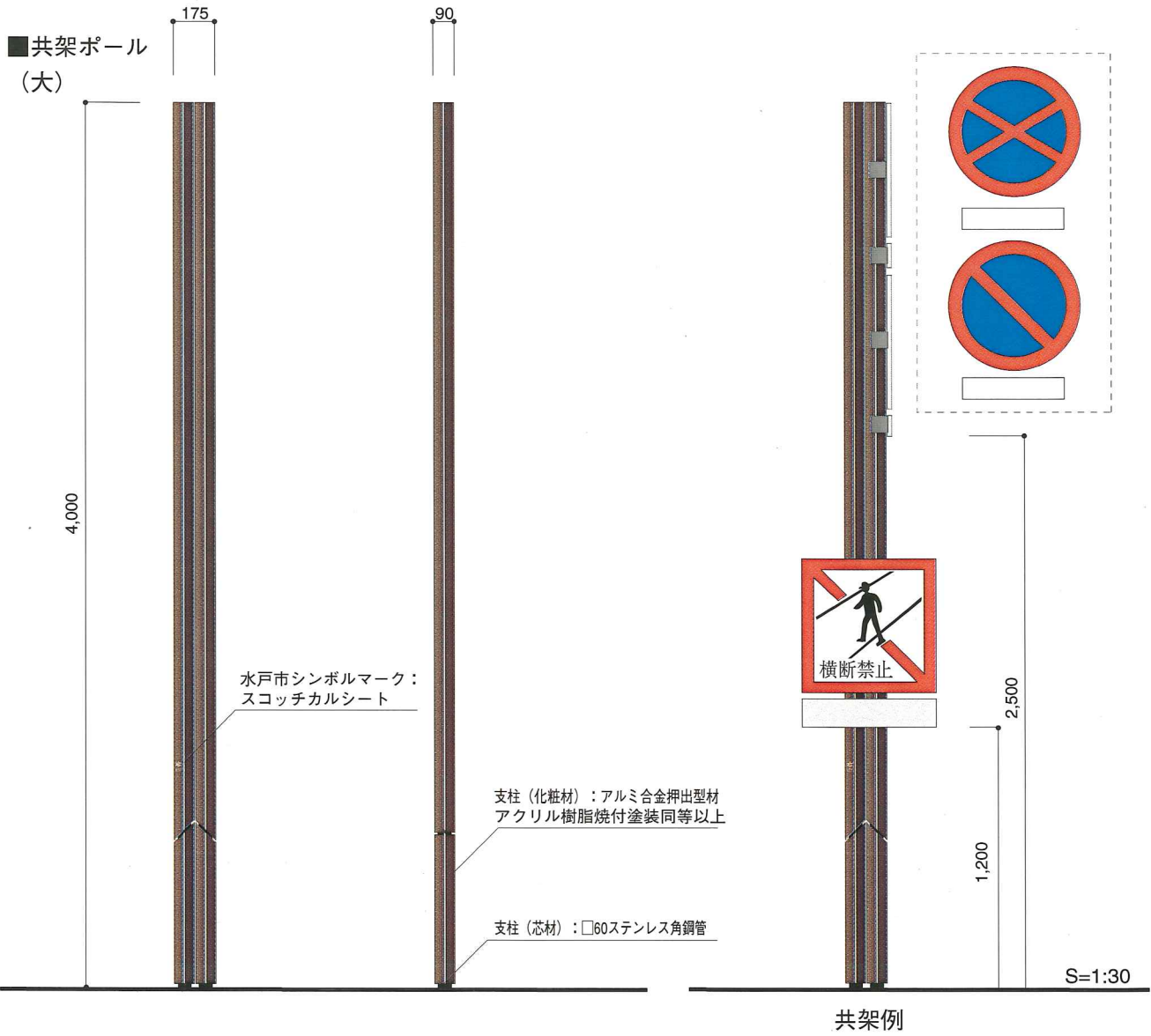
S=1:20

(支柱タイプ)



■通り名称サイン

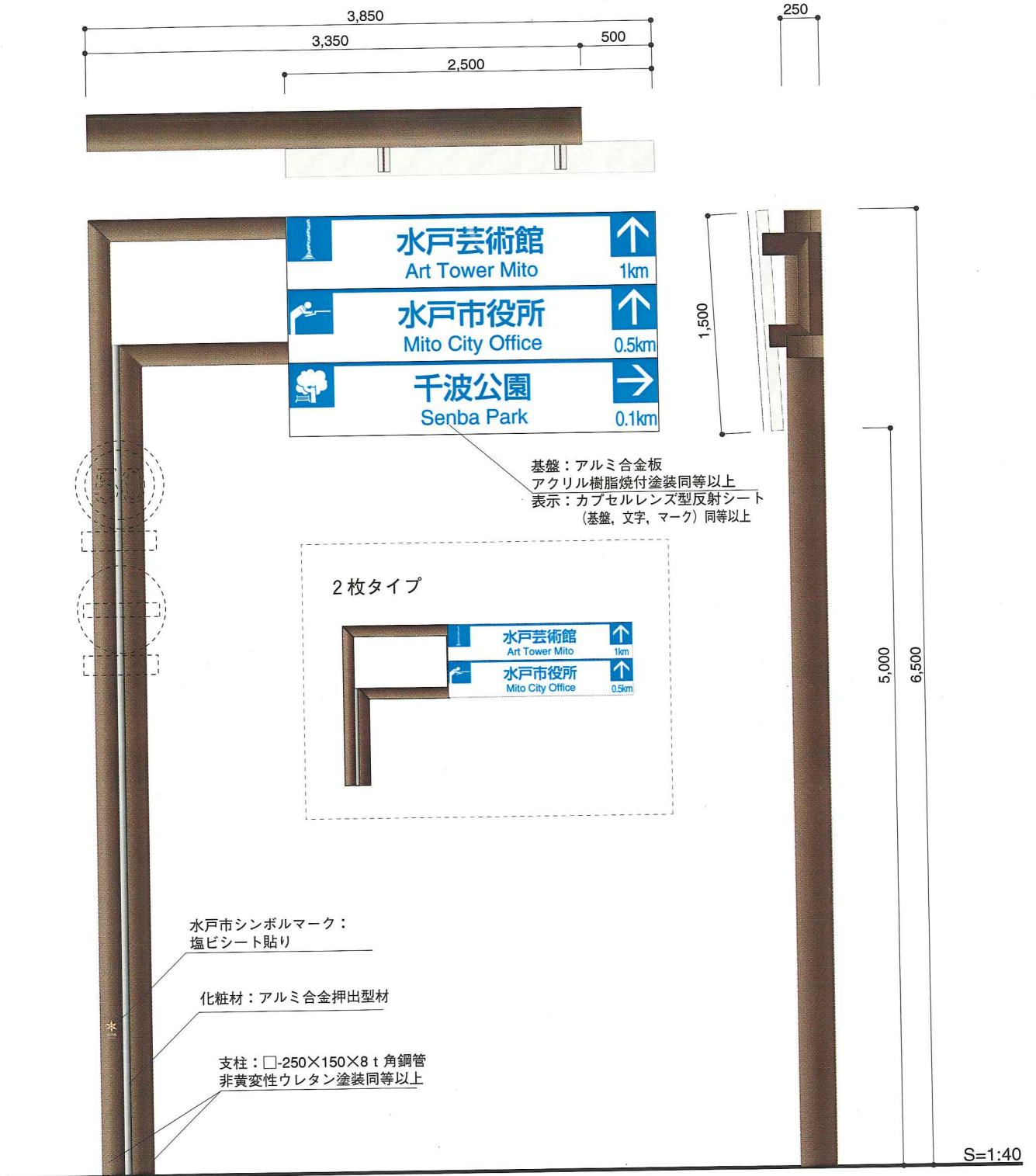




3-2-2 自動車系サイン

■施設誘導サイン

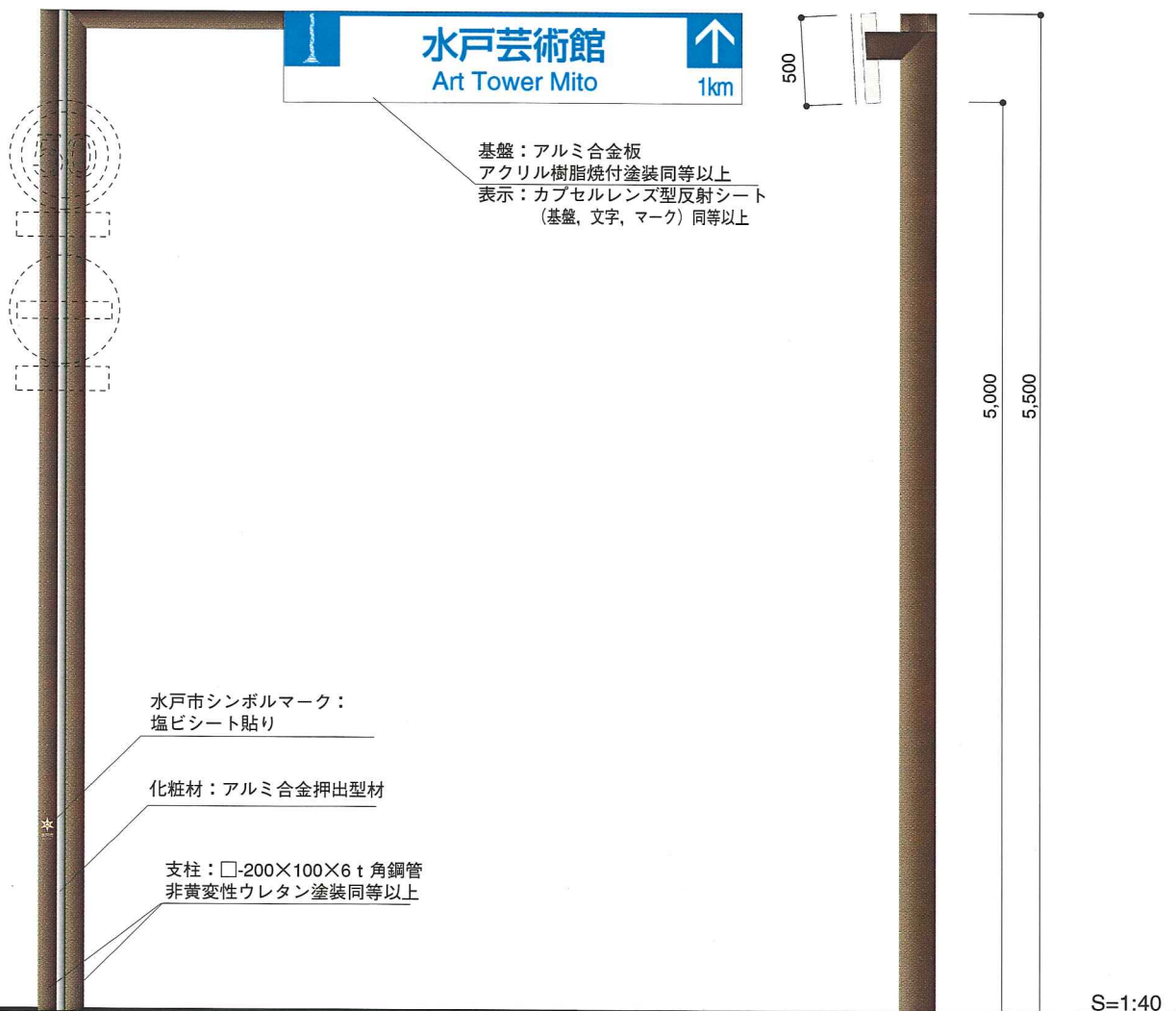
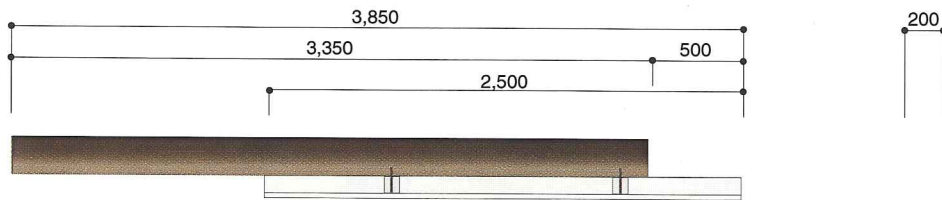
(3段タイプ)



本体色彩

表現箇所	色見本
支柱, 梁	DIC-778 (憲法色)
表示 (基盤)	白
表示 (文字, マーク)	DIC-641

■施設誘導サイン
(1段タイプ)



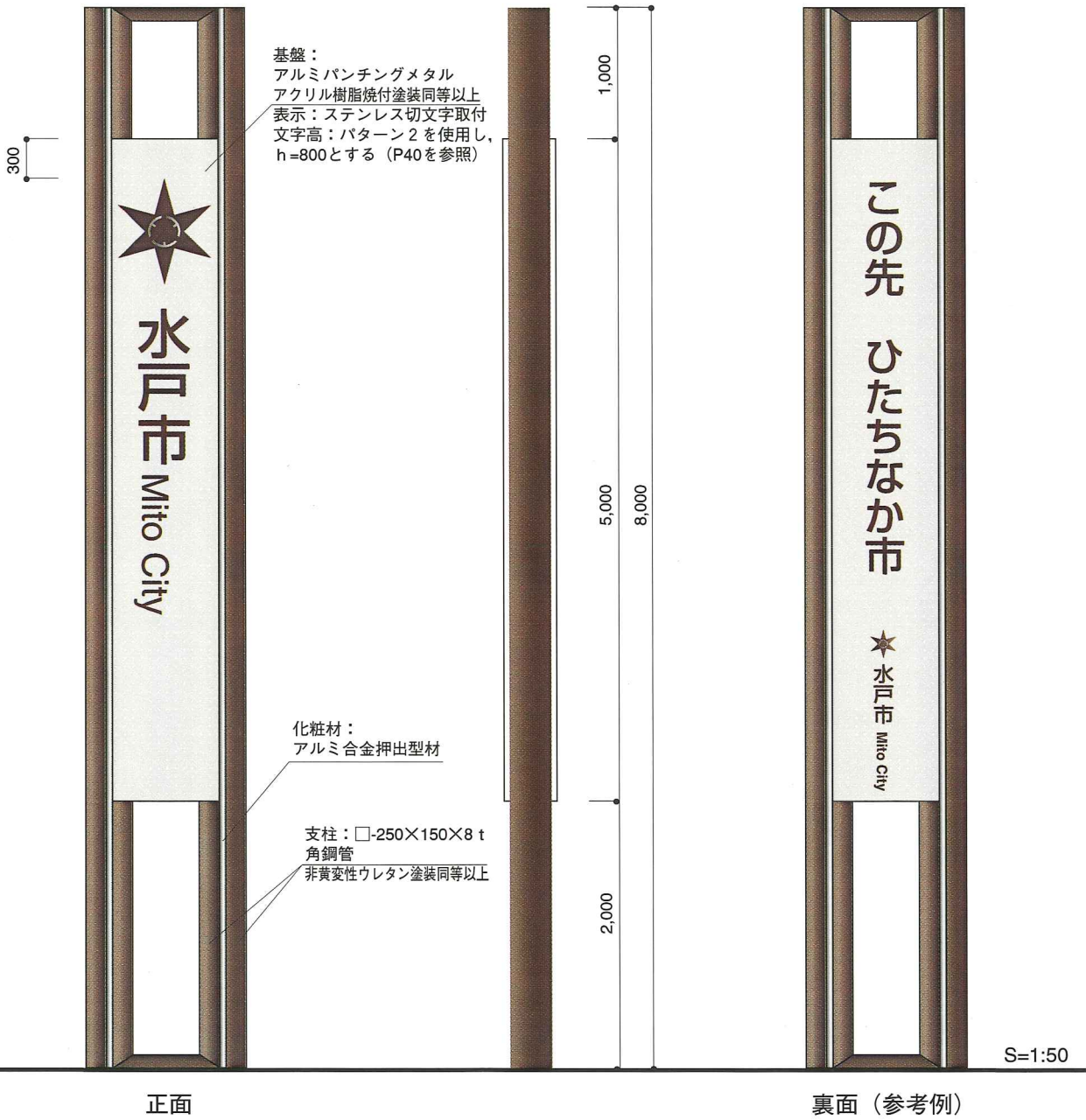
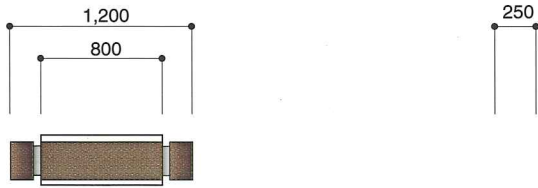
■市境記名サイン
(横型)



本体色彩

表現箇所	色見本
支柱, 梁	DIC-778 (憲法色)
表示 (基盤)	DIC-789 (象牙色)
表示 (文字, マーク)	DIC-762 (栗皮色)

■市境記名サイン
(縦型)



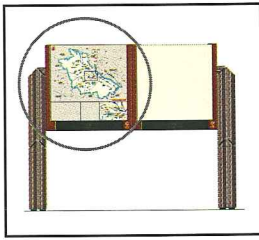
本体色彩	表現箇所	色見本
	支柱、マーク、文字	DIC-778（憲法色）

※裏面の表示内容は設置位置に応じて調整を行うこととする。

3-3 表示基準

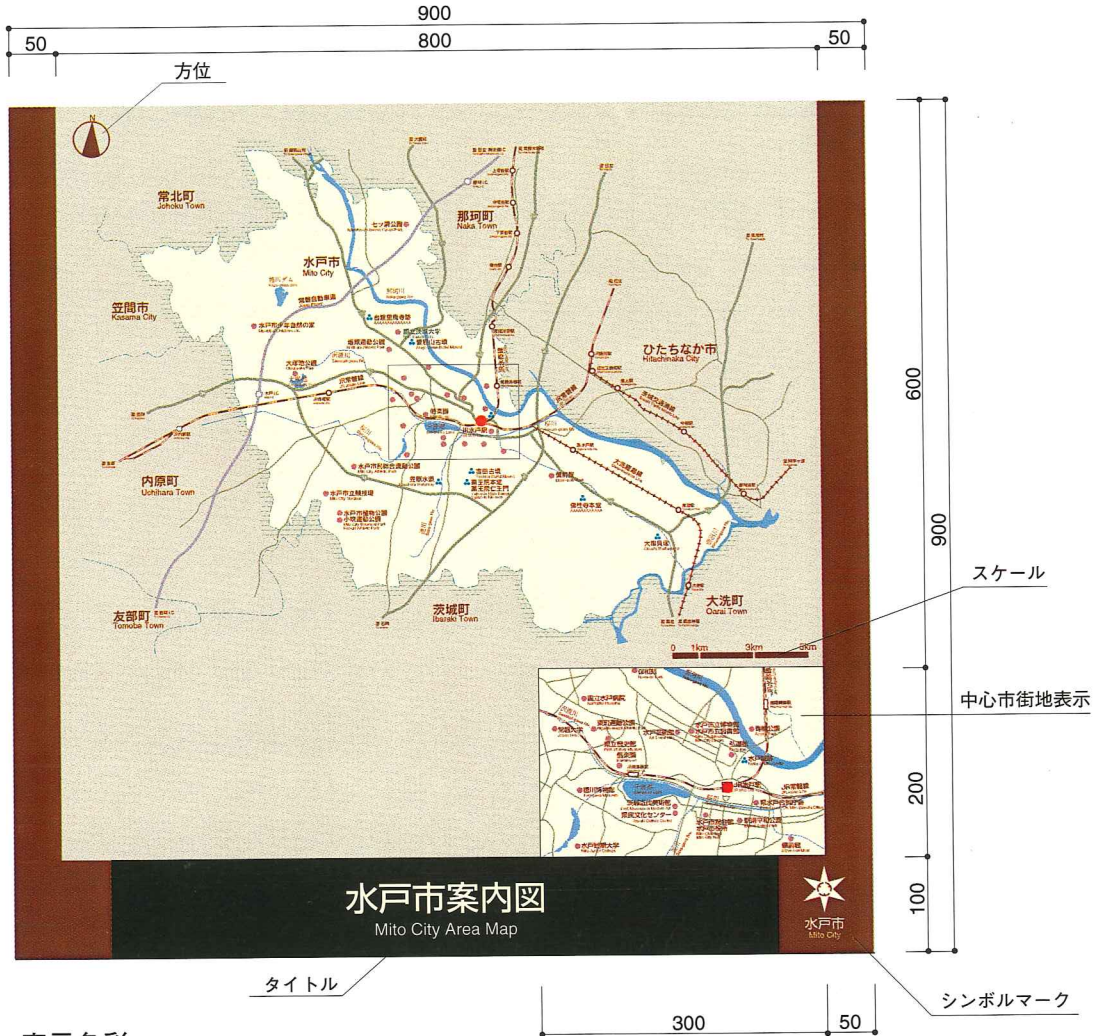
3-3-1 歩行者系サイン

■水戸市案内図



地図面サイズ：600 × 800 mm (200 × 300 mm)
 表示範囲：水戸市全域 (中心市街地付近)
 表示スケール：1:35000 (1:17500)
 印刷方法：クロマリン印刷
 表示の向き：北を上固定 (同様)

※ () は中心市街地表示



表示色彩

表現箇所	色見本	表現箇所	色見本
市内街区・ タイトル・市名・マーク	DIC-789 象牙色	史跡名勝マーク	DIC-2375
市外街区	DIC-784 ベージュ	高速道路・ I.C.	DIC-998 棟
湖・河川・ 沼・ダム	DIC-895 薄群青	線路・駅・文字 方位・スケール・ 両サイド帯	DIC-2253
市町村境線	DIC-F60 ブル・テュルコアズ	I.C.線路(カキ・ JR線路(白))・ 国道文字,ライン	白
現在地	DIC-724 猩々緋	国道・国道番号 県道・主要道	DIC-C240 トンボイ
施設マーク	DIC-922 半色	タイトル帯	黒

※ DIC…大日本インキ化学工業株式会社の発行しているカラーガイドのナンバー
 ※カラーコピーのため、実際の色と多少異なります。

施設の掲載基準

水戸市案内図を対象とした掲載施設は、以下の基準に基づいて選定する。

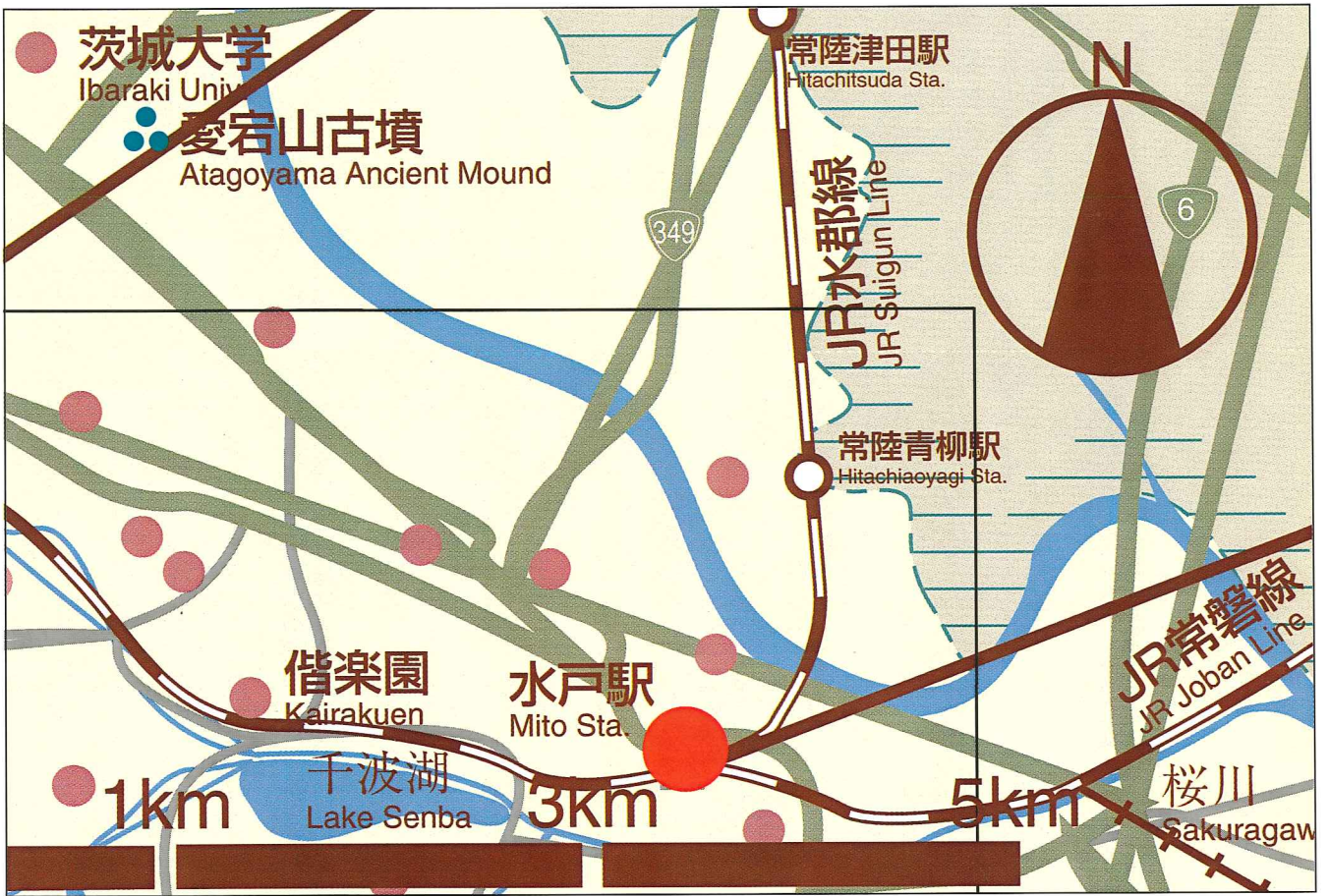
項目	小項目	掲載施設	例示
地勢等	地勢	河川，湖，沼，堀，山等著名なもの	那珂川，千波湖，大塚池等
地名	自治体	縣市町村，郡	茨城県，水戸市，ひたちなか市等
道路名等	道路 地点	高速道路，国道，道路通称名を持つ県道 インターチェンジ	常磐自動車道，国道50号等 水戸インターチェンジ等
交通機関	鉄道 バス	鉄道路線，鉄道駅 バスターミナル	JR常磐線，JR水戸駅，JR赤塚駅等 水戸駅前バスターミナル
公共施設，または 公共性の高い施設	行政施設 公園，緑地 教育施設 医療施設 文化施設 スポーツ施設 集会施設 史跡，名勝，寺社	県庁，市役所 地区公園，総合公園，風致公園，植物公園，歴史公園，広域公園 大学，短期大学 公的医療機関 公的機関の運営する施設 運動公園，プール等 市民会館 国または自治体の指定する文化財	茨城県庁，水戸市役所等 千波公園，偕楽園公園等 茨城大学，水戸短期大学等 国立水戸病院，水戸赤十字病院等 県立近代美術館，水戸芸術館，市立博物館等 総合運動公園，青柳市民プール等 水戸市民会館等 吉田古墳等

地図表現の方法

上記の掲載基準で設定された施設を含め、地図上での表現方法は、原則として形状表現と文字表現の2つで構成される。水戸市案内図については、以下のように定めるものとする。

表示内容		
形状表現	<ul style="list-style-type: none"> 行政界（市，町界） 市域 河川（那珂川，桜川，沢渡川，逆川） 湖，ダム，池 道路（高速道路，国道，主要地方道） 鉄道（JR及び私鉄路線，駅） 公共施設又は公共性の高い施設 	<p>実際の形状に基づき，線形で表現する。（水戸市の輪郭は斜線を併用する－P23参照） 市内外を色わけする。</p> <p>実際の形状に基づき表現する。（那珂川一面で表現，桜川，沢渡川，逆川－線形で表現） 実際の形状に基づき表現する。（千波湖，楮川ダム，大塚池等）</p> <p>線形で表現する。（高速道路は色を区別し，国道，主要地方道は線幅で区別する）</p> <p>線形で表現する。（P23参照）</p> <p>施設掲載基準に基づく施設の位置を表現する。（史跡，名勝，寺社は・，それ以外の施設は●で表現する）</p>
文字表現	<ul style="list-style-type: none"> 水戸市名 近隣市，町名 河川，湖，ダム，池名 道路名（インターチェンジ名） 鉄道（JR及び私鉄路線名，駅名） 公共施設または，公共性の高い施設 	<p>市域内に「水戸市」を表示する。</p> <p>水戸市に近接する市，町名を表示する。</p> <p>那珂川，桜川，沢渡川，逆川について表示する。</p> <p>高速道路（インターチェンジ名）は文字で名称表現し，国道はマークで表現する。（P23参照）</p> <p>すべて表示する。</p> <p>施設掲載基準に基づく施設名を表示する。</p>

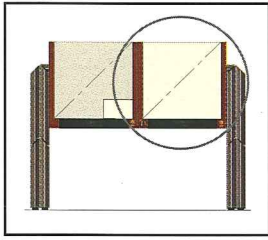
水戸市案内図 原寸表示



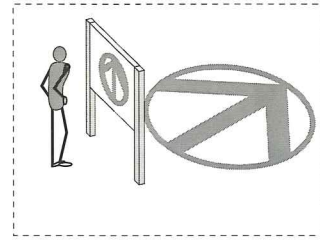
中心市街地表示 原寸表示



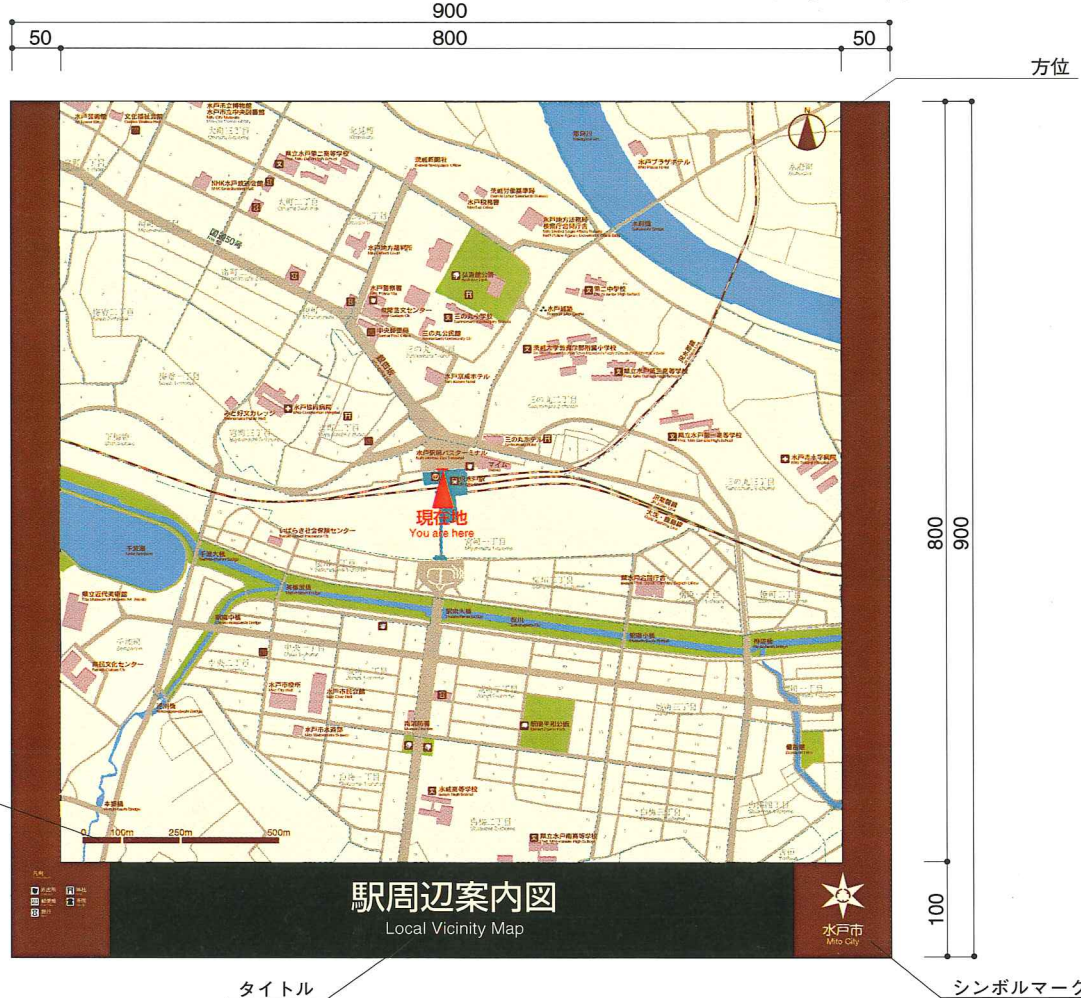
■周辺案内図（大）



地図面サイズ：800 × 800 mm
 表示範囲：現在地を中心に2Km 四方
 表示スケール：1:2500
 印刷方法：クロマリン印刷
 表示の向き：サインに対して前方を上とする。
 （右図参照）



※表示面の向き



表示色彩

表現箇所	色見本	表現箇所	色見本	表現箇所	色見本
道路	DIC-785 白茶	駅	DIC-2375	タイトル帯	黒
街区・タイトル・シンボルマーク	DIC-789 象牙色	町界・町目界	DIC-F60 ブルー・テュルコアズ		
公園・緑地	DIC-362	文字・ピクト・線路 方位・スケール・ 両サイド帯	DIC-2253		
河川・湖	DIC-895 薄群青	線路-(白)・ ピクト-ナカキ	白		
施設	DIC-918 紅藤	町目名・地番	DIC-C240 トホイス		
施設-影	DIC-F301 ビワカ・グリセ	現在地	DIC-724 狸々緋		

※ DIC…大日本インキ化学工業株式会社の発行しているカラーガイドのナンバー
 ※カラーコピーのため、実際の色と多少異なります。

施設の掲載基準

周辺案内図(大)、周辺案内図(小)を対象とした掲載施設は、以下の基準に基づいて選定する。

項目	小項目	掲載施設	例示
地勢等	地勢	河川、湖、沼、堀、山等著名なもの	那珂川、千波湖、大塚池等
地名	自治体 住居表示	縣市町村 町丁目名	茨城県、水戸市、ひたちなか市等 宮町、南町、八幡町等
道路名等	道路名 地点名	高速道路、国道、道路通称名を持つ県道 橋名、インターチェンジ	常磐自動車道、国道50号等 水戸大橋、水戸インターチェンジ等
交通機関	鉄道 バス	鉄道路線、鉄道駅 バスターミナル	JR常磐線、水戸駅等 水戸駅前バスターミナル
公共施設、または公共性の高い施設	行政施設 公園、緑地 避難場所 教育施設 医療施設 福祉施設 文化施設 スポーツ施設 集会施設 公益施設 金融機関 報道機関 史跡、名勝、寺社 その他 商業施設 宿泊施設 移動上の手掛かりとなる施設	県庁、市役所、警察署、消防署、郵便局、裁判所、 税務署、法務局、刑務所、保健所、職業安定所等 街区公園、近隣公園、地区公園、総合公園、風致公園、植物公園、 歴史公園、広域公園 水戸市地域防災計画に基づく施設(広域避難場所、指定避難地域等) 小学校、中学校、高等学校、大学、短期大学等 公的医療機関 老人福祉施設、障害者福祉施設 主要な劇場、ホール、美術館、博物館等 運動公園、プール等 市民会館、公民館等 電話、電気、ガス関連企業の本支店 地方銀行等の本店 放送局、新聞社 国または自治体の指定する文化財 商工会議所、観光案内所 第一種大規模小売店舗、商店街 一定の規模以上のホテル、旅館 主要交差点付近の大規模または特徴ある建築物	茨城県庁、水戸市役所、水戸警察署、 中央郵便局、水戸地方裁判所、水戸税務所等 千波公園、偕楽園公園 茨城大学等 国立水戸病院、水戸赤十字病院等 水戸市立開江老人ホーム等 県立近代美術館、水戸芸術館、市立博物館等 総合運動公園、青柳市民プール等 水戸市民会館、三の丸公民館等 NHK水戸放送会館等 吉田古墳等 水戸商工会議所等 水戸芸術館タワー等

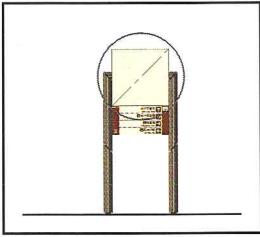
地図表現の方法

上記の掲載基準で設定された施設を含め、地図上での表現方法は、原則として形状表現と文字表現の2つで構成される。周辺案内図(大)、周辺案内図(小)については以下のように定めるものとする。

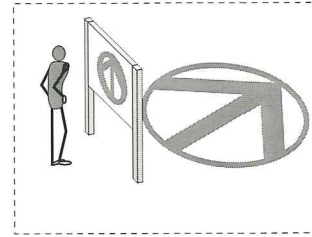
表示内容		
形状表現	<ul style="list-style-type: none"> 行政界(町丁目界) 河川、湖、ダム、池 街区、道路 公園 鉄道(JR及び私鉄路線、駅) 公共施設又は公共性の高い施設 	<p>線形で表現する。(P26参照)</p> <p>主要なものをすべて表現する。実際の形状に基づき表現する。</p> <p>実際の形状に基づき表現する。ただし袋小路は表現しない。</p> <p>実際の形状に基づき街区とは色彩を変えて表現する。</p> <p>線形で表現する。複線は一本で表現する。</p> <p>実際の形状を簡略化して表現する。ただし公園、緑地については敷地の色分けで表現する。</p> <p>また、P37参照の凡例に該当する施設については形状の表現を行わない。</p>
文字表現	<ul style="list-style-type: none"> 近隣市町名 町丁目名 河川、湖、ダム、池 橋名 公園 道路名 JR路線、駅名 私鉄路線、駅名 バス停留所名 公共施設または、公共性の高い施設 	<p>すべて表示する。</p> <p>すべて表示する。</p> <p>すべて表示する。</p> <p>一定の規模をもつ橋を表示する。</p> <p>街区公園は地形のみの表現とし、地区公園以上は名称表現を行う。</p> <p>高速道路名、インターチェンジ名、国道名を表示する。また通りに慣習的な通り名称がある場合は、必要に応じて表示する。</p> <p>路線は名称のみの表示とし、駅名はピクトグラムを併記する。(P37参照)</p> <p>路線は名称のみの表示とし、駅名はピクトグラムを併記する。(P37参照)</p> <p>主要なバスターミナルを表示し、ピクトグラムを併記する。</p> <p>施設掲載基準に基づく施設名を表示する。ただしP37の凡例に該当する施設については代表的、または大規模な施設を除き、文字表示は行わずピクトグラムのみの表示とする。</p> <p>また、P37のその他のピクトグラムに該当する施設は文字表示とピクトグラムを併記する。</p>



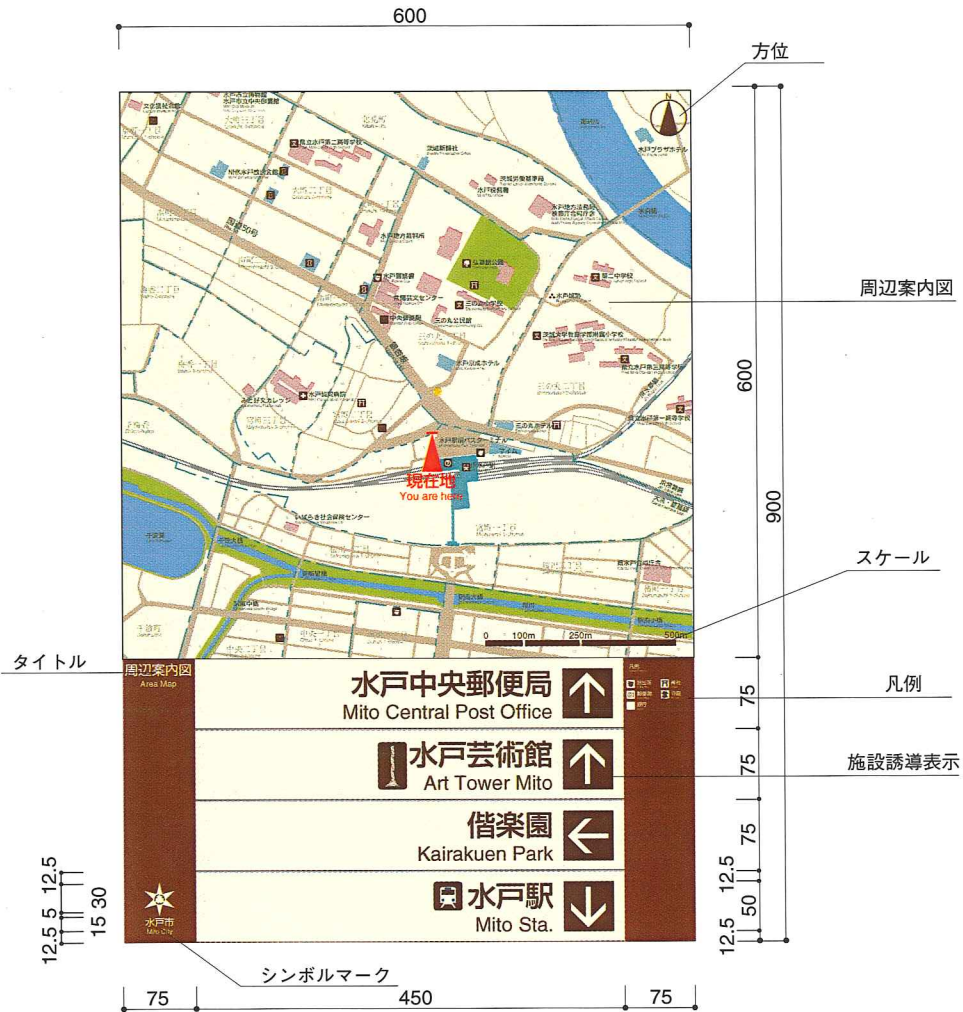
■周辺案内図（小）



地図面サイズ：600×600mm
 表示範囲：現在地を中心に1.5Km四方
 表示スケール：1:2500
 印刷方法：クロマリン印刷
 表示の向き：サインに対して前方を上とする。
 （右図参照）



※表示の向き



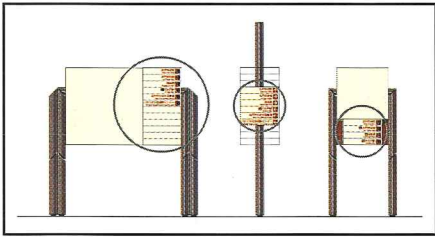
表示色彩

案内図：周辺案内図（大）に準ずる。（P 24 参照）
 誘導表示：施設誘導表示 TYPE1 に準ずる。（P 28 参照）

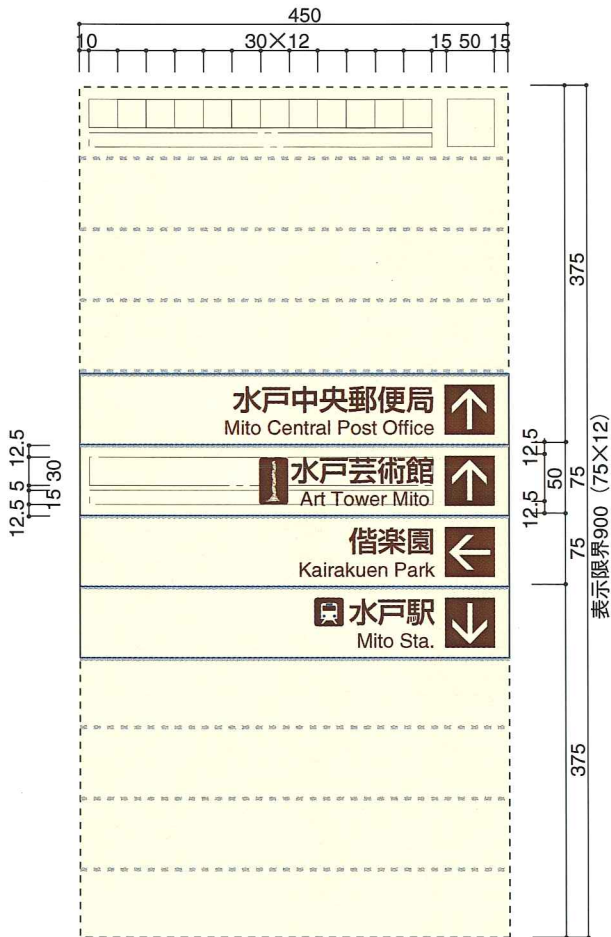
掲載基準

案内図：周辺案内図（大）に準ずる。（P 25 参照）
 施設誘導表示：施設誘導表示の掲載基準に基づく。（P 29 参照）

■施設誘導表示
(TYPE 1)



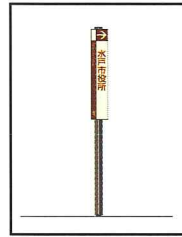
書体：和文-ゴナDB
 英文-ヘルベチカレギュラー
 文字揃え：右揃え



表示色彩

表現箇所	色見本
基盤・矢印	DIC-789 象牙色
シンボルマーク	
文字・ライン	DIC-311

■施設誘導表示
(TYPE 2)



書体：和文-ゴナDB
 英文-ヘルベチカレギュラー
 文字揃え：上揃え



掲載基準

・誘導対象施設の評価基準（自動車系，歩行者系）

誘導対象施設の選定にあたっては、公共、公益施設、また公共性の高い施設を対象とし、それらについて次の項目により実態評価を行い、総合的に評価の高い施設を選定する。

施設評価項目

評価項目	評価の視点	評価基準
公開性	施設が広く利用され誰もが利用することができるか、施設利用者が特定されていないかによって公開性を評価する。	評価1◎（5点）：公開性が高く利用者が不特定の施設
		評価2○（3点）：公開性、不特定性いずれかが高い施設
		評価3△（1点）：公開性、不特定性いずれも低い施設
広域性	施設の機能や利用目的が、どのような利用者を対象としているかによって施設の広域性を評価する。	評価1◎（5点）：遠方からの来訪者が利用する施設
		評価2○（3点）：近隣住民と全市民が利用する施設
		評価3△（1点）：主として地域住民が利用する施設
アピール性	市としてシンボル性を持たせたい施設かどうか。または、位置がわかりにくい施設であるかどうかを評価する。	評価1◎（5点）：特にシンボル性を持たせたい施設、または位置がわかりにくい施設
		評価2○（3点）：比較的シンボル性の高い施設、または比較的位置のわかりにくい施設
		評価3△（1点）：それほどシンボル性を持たない施設、または比較的位置のわかりにくい施設

・ランク付けの考え方

以下の考え方により、誘導対象施設を評価の高い順から特A～Cまでのランクに分類し、各ランクに応じて自動車系サイン、歩行者系サインの誘導対象施設と設置位置の整理を行う。施設誘導サインを配置する際の基準として位置付ける。

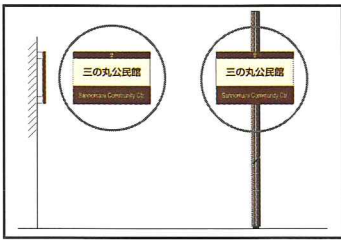
ただし、実際には施設の分布状況や、道路事情、また既存のサインとの関係など場所ごとに個別の調整が必要となることが考えられ、そういった与条件に配慮しながら表示施設を選定する必要がある。

■ 誘導を行う □ 必要に応じて誘導を行う

ランク分けによる誘導対象の考え方

	誘導表示としての扱い	総合点	自動車系			歩行者系	
			I.C.出口	主要分岐点	導入分岐点	主要分岐点	分岐点(導入分岐点)
特Aランク	自動車系サイン 特に広域からの誘導が必要な代表的施設を対象とする。具体的には「偕楽園」「千波公園」「水戸芸術館」等が挙げられ、主要、導入分岐点を対象に誘導を行う。ただしI.C.出口においては必要に応じて誘導を行うこととする。	14 ～ 15	■	■	■	■	■
Aランク	自動車系サイン 幹線道路上の導入分岐点からの誘導を原則とし、必要に応じて（現地の道路、地形の状況に応じて）主要分岐点または分岐点からの誘導を行う。 歩行者系サイン 主要分岐点からの誘導を行う。	9 ～ 13	■	■	■	■	■
Bランク	自動車系サイン 施設までの経路、地形の状況に応じて導入分岐点からの誘導を行う。 歩行者系サイン 施設までの経路、地形の状況に応じて分岐点（導入分岐点）からの誘導を行う。	9 ～ 13	■	■	■	■	■
Cランク	自動車系・歩行者系サイン 原則として誘導対象として扱わない。	9 未滿	■	■	■	■	■

■施設記名表示



書体：和文－ゴナDB
 英文－ヘルベチカレギュラー
 文字揃え：中揃え

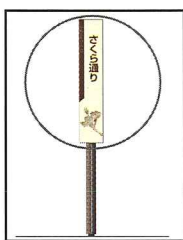


文字は丸ゴシックのまま
 色が地クリム
 文字こげ茶

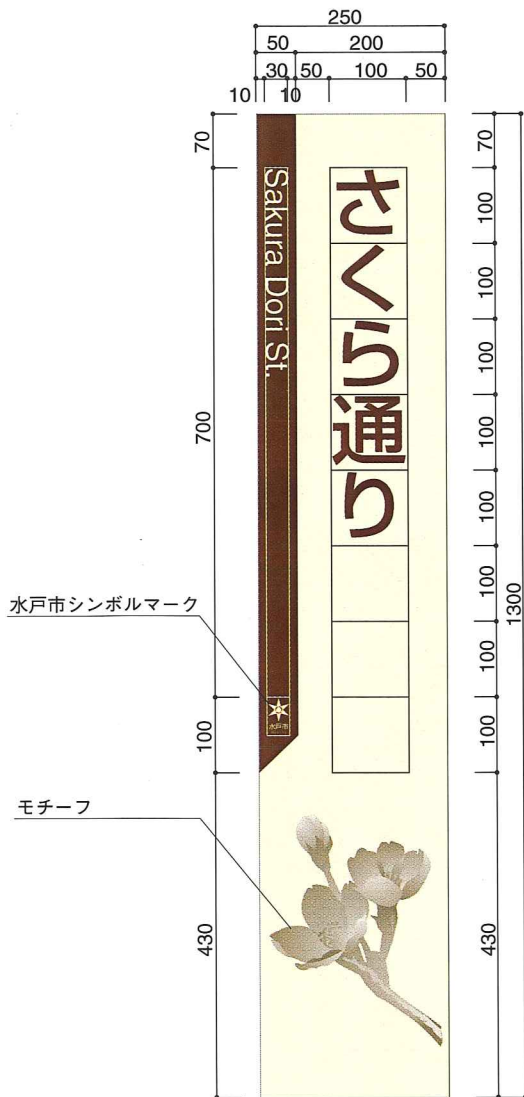
表示色彩

表現箇所	色見本
基盤-1・和文・シンボルマーク	DIC-789 象牙色
基盤-2・英文	DIC-311

■通り名称表示



書体：和文-ゴナDB
 英文-ヘルベチカレギュラー
 文字揃え：上揃え



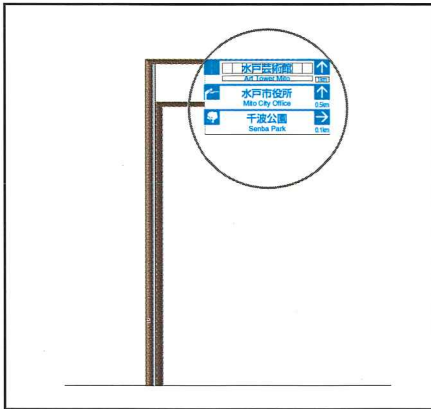
※モチーフとなる図柄は参考である。
 実際の計画では、通りごとに検討を行い、
 デザインを決定するものとする。

表示色彩

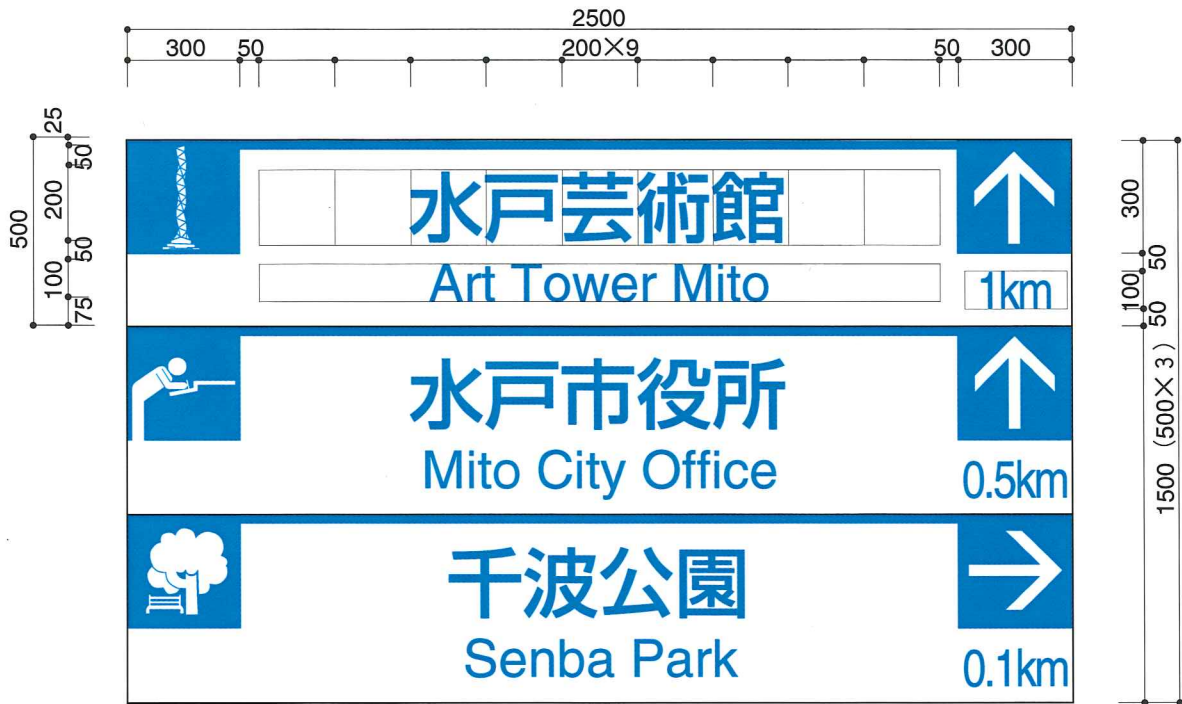
表現箇所	色見本
基盤、英文、シンボルマーク	DIC-789 象牙色
和文、ライン	DIC-311
図柄 (モチーフ)	DIC-311 (カラーション)

3-3-2 自動車系サイン

■施設誘導表示

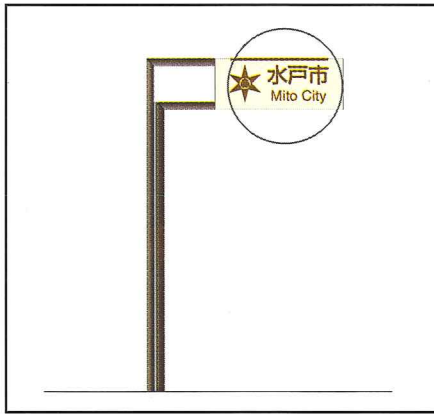


書体：和文—ゴナDB
 英文—ヘルベチカレギュラー
 文字揃え：中揃え

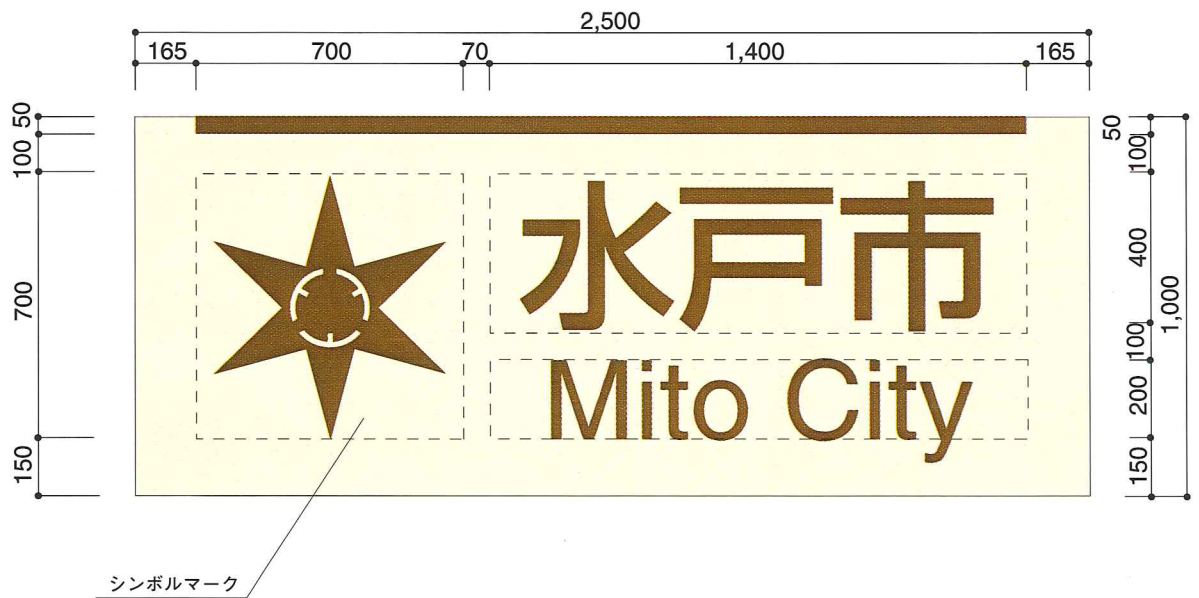


表示色彩：P17を参照

■水戸市記名表示



書体：和文－ゴナDB
 英文－ヘルベチカレギュラー
 文字揃え：中揃え



表示色彩：P19を参照（同サイン縦形はP20を参照）

3-4 共通基準

3-4-1 案内図の表現要素

■文字表現

●文字組み

左揃え



中揃え



右揃え



上揃え



・Hが10mmより大きい場合、
h = 2 mmとし、Hが10mm
以下の場合、h = 1 mmと
する。

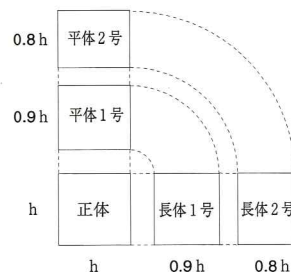
●文字変形（和文、英文）

・地図表示内の文字情報，施設誘導表示及び通り名称表示の文字数が多い場合は次のような手順で調整を行う。

1 施設名称を簡略化する。

例) 水戸地方法務局検察庁合同庁舎→地方法務局検察庁合同庁舎

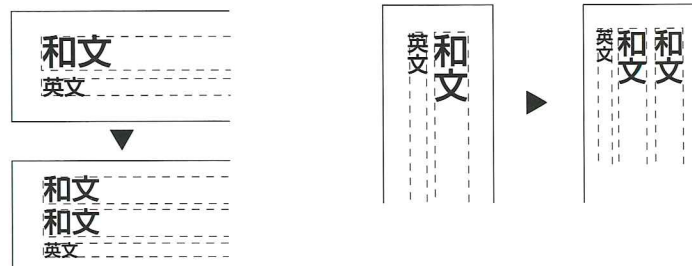
2 文字の変形を行う。



・表示のバランスを図る上で、
必要に応じて長体，平体2号
までの変形を行う。
・英文の場合は，ヘルベチカ
レギュラーコンデンス（長体
2号相当）で対応する。

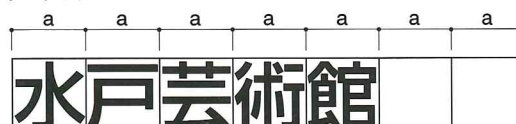
3 文字レイアウトを変更する。

参考例)



●その他

・文字間隔は原則としてベタ組みとする。



■書体

●使用書体

和文：ゴナDB

街が際だつ巧みなサイン
会場Mapから25km圏

太明朝体

街が際だつ巧みなサイン
会場Mapから25km圏内

英文：ヘルベチカレギュラー

TYPEFACETypefaces

ABCDEFGHIJKLMNPOQRSTUVWXYZ

abcdefghijklmnopqrstuvwxyz

0123456789

ヘルベチカレギュラー

コンデンス

TYPEFACETypefaces

ABCDEFGHIJKLMNPOQRSTUVWXYZ

abcdefghijklmnopqrstuvwxyz

0123456789

●文字サイズ、書体

水戸市案内図

表示内容	和文 書体	英文 書体
	文字高	文字高
市町村名	ゴナDB	ヘルベチカ・レギュラー
	12mm	6mm
施設名, 路線名 道路名	ゴナDB	ヘルベチカ・レギュラー
	6mm	3mm
駅名, I.C.名, 至表示	ゴナDB	ヘルベチカ・レギュラー
	4mm	3mm
川, 湖, タム名	太明朝体	ヘルベチカ・レギュラー
	6mm	3mm
タイトル	ゴナDB	ヘルベチカ・レギュラー
	35mm	18mm

周辺案内図 (大, 小)

表示内容	和文 書体	英文 書体
	文字高	文字高
町目名	ゴナDB	ヘルベチカ・レギュラー
	8mm	4mm
地番		ヘルベチカ・レギュラー
		4mm
川湖名, 路線名, 駅名施設名, 公園, 橋	ゴナDB	ヘルベチカ・レギュラー
	6mm	3mm
現在地	ゴナDB	ヘルベチカ・レギュラー
	16mm	8mm
タイトル	ゴナDB	ヘルベチカ・レギュラー
	35mm	18mm

■地図表現要素

●施設形状



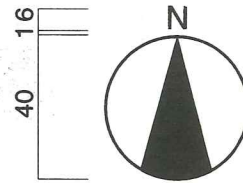
- ・北西方向に立ち上げる。(1 mm)
- ・実際の形状を簡略化したものとする。

●現在地



- ・書体：和文－ゴナDB
英文－ヘルベチカレギュラー
- ・現在地付近の文字の混み具合に応じて上図のように移動する。

●方位



●スケール

水戸市案内図



周辺案内図



●シンボルマーク

- ・使用方法についてはP.40を参照



●ピクトグラム（凡例表示）



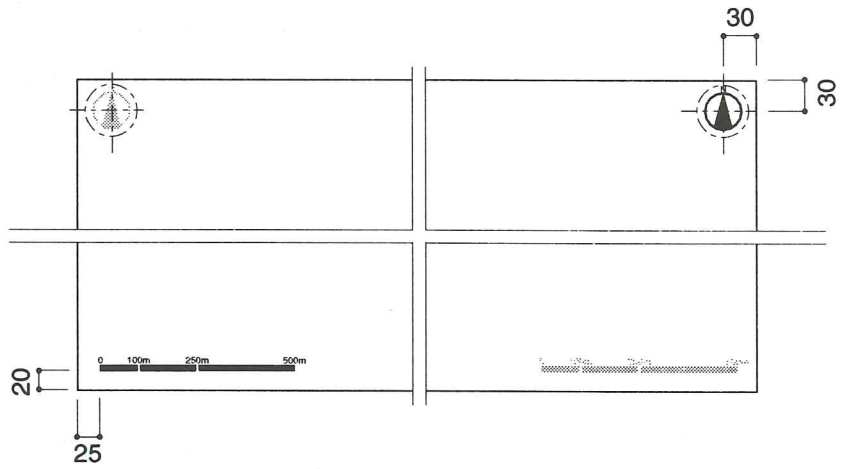
●その他のピクトグラム

・以下のピクトグラムを使用する際は、文字（名称）の併記を原則とする。また、表示する施設がオリジナルのピクトグラムを有する場合は、必要に応じてそれを使用してもよい。

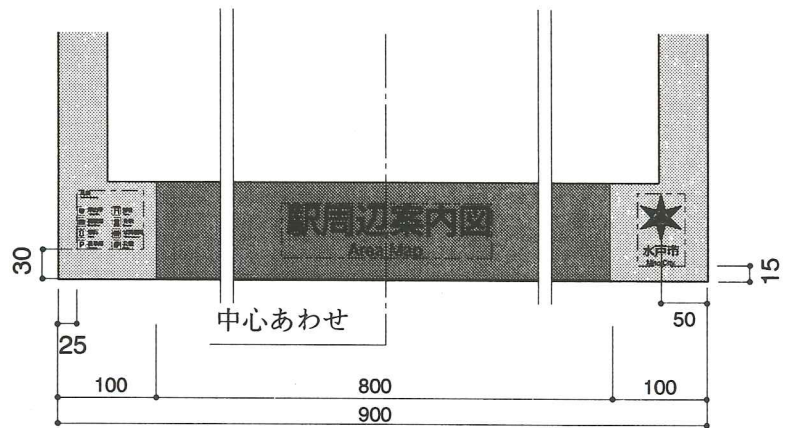


●方位，スケールレイアウト

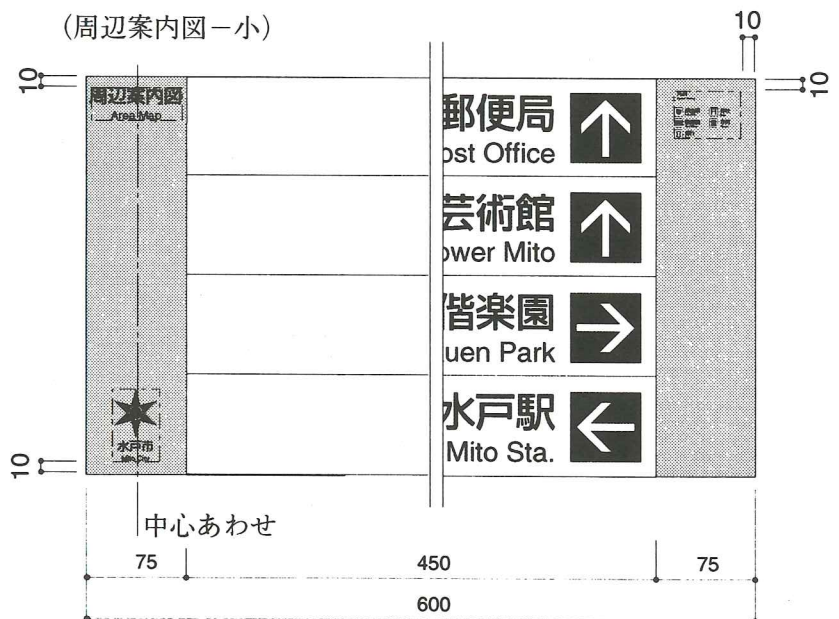
- ・方位とスケールのレイアウトは基本的に下図のようにするが，地図の情報により不都合が生じる場合は，そのつと調整する。



●タイトル，凡例，シンボルマークレイアウト
(水戸市案内図，周辺案内図一大)

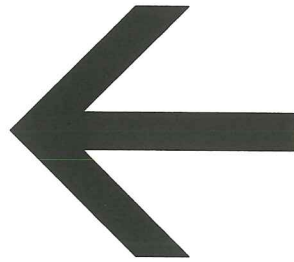


(周辺案内図一小)

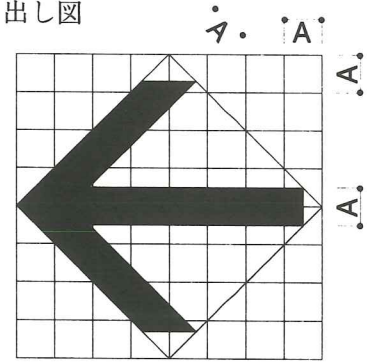


■施設誘導表示

●矢印見本



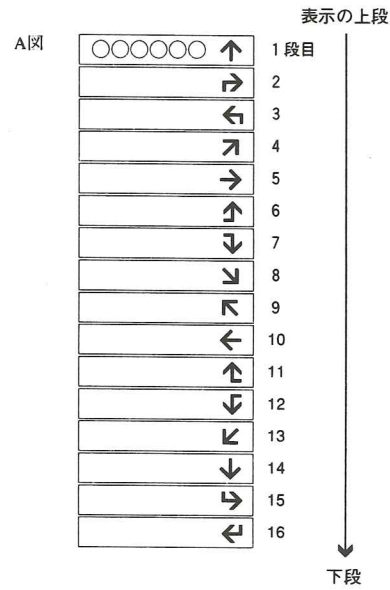
●割り出し図



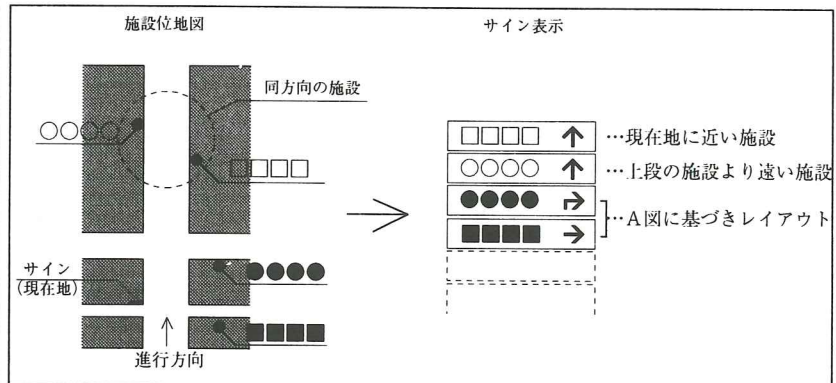
●矢印の優先順位

矢印の方向は、進行方向から見た当該交差点における交差道路の方向によって決まる。一般的に用いられる矢印にはA図にある種類が考えられ、実際の設置場所に応じたものを使用するよう十分検討する。

・表示は、A図の矢印の順序に従い、上からレイアウトする。



・なお、同方向の施設が2つ以上ある場合は、現在地に近い施設が上段にくるようレイアウトする。

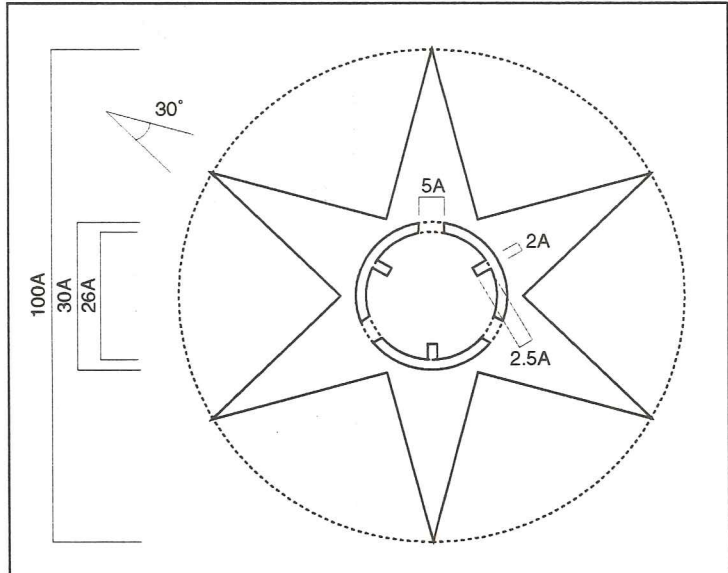


●シンボルマークの使用方法

市のサインとしてイメージの統合を図ることを目的に、本マニュアルの対象サインでは下図のようなマークを統一的に展開していくこととする。

このマークは、昭和8年に市の「紋章」として市民により提案されたものをベースに、寸法、色彩等について標準化を図ったものである。

標準デザイン

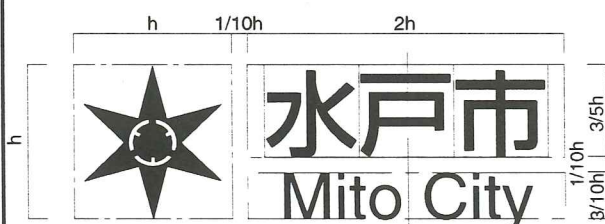


使用パターン

パターン 1



パターン 2



パターン 3

※文字書体は、和文をゴナDB、英文をヘルベチカレギュラーとする。

3-5 英文表記基準

3-5-1 外国語併記について

近年、水戸市に在住または来訪する外国人の増加がみられ、サインにおいても外国人利用者への対応が不可欠である。

本マニュアルでは、国際化時代に即した表記方法として、これまで道路標識に使用され、国際的にも広く普及している英語を併記（すなわち和英2カ国語併記）することとし、その運用にかかわる基準を示すものである。

表-1 ローマ字綴り（ヘボン式）

あ	い	う	え	お
a	i	u	e	o
か	き	く	け	こ
ka	ki	ku	ke	ko
さ	し	す	せ	そ
sa	shi	su	se	so
た	ち	つ	て	と
ta	chi	tsu	te	to
な	に	ぬ	ね	の
na	ni	nu	ne	no
は	ひ	ふ	へ	ほ
ha	hi	fu	he	ho
ま	み	む	め	も
ma	mi	mu	me	mo
や		ゆ		よ
ya		yu		yo
ら	り	る	れ	ろ
ra	ri	ru	re	ro
わ				
wa				
ん				
n				
が	ぎ	ぐ	げ	ご
ga	gi	gu	ge	go
ざ	じ	ず	ぜ	ぞ
za	ji	zu	ze	zo
だ	ぢ	づ	で	ど
da	ji	zu	de	do
ば	び	ぶ	べ	ぼ
ba	bi	bu	be	bo
ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ
pa	pi	pu	pe	po
きゃ	きゅ		きょ	
kya	kyu		kyo	
しゃ	しゅ		しょ	
sha	shu		sho	
ちゃ	ちゅ		ちょ	
cha	chu		cho	
にゃ	にゅ		にょ	
nya	nyu		nyo	
ひゃ	ひゅ		ひょ	
hya	hyu		hyo	
みゃ	みゅ		みょ	
mya	myu		myo	
りゃ	りゅ		りょ	
rya	ryu		ryo	
ぎゃ	ぎゅ		ぎょ	
gya	gyu		gyo	
じゃ	じゅ		じょ	
ja	ju		jo	
びゃ	びゅ		びょ	
bya	byu		byo	
ぴゃ	ぴゅ		ぴょ	
pya	pyu		pyo	

■英文表記、ローマ字綴りの原則

本市サインの英文表記は、固有名詞については、ヘボン式（表1参照）、普通名称については、英語により表記するものとする。ただし、慣用上固有名詞と普通名詞に切り離せない場合は、普通名詞の部分も含めてローマ字による表記とし必要に応じて英文を付記する。

- 1 長音を表す「-」、「^」、「h」等は特にこれを用いない。（大阪 Osaka）
- 2 はねる音を表すnに続く母音字およびyはハイフン（-）によって切り離す。（金曜日 Kin-yobi）
- 3 つまる音は、次にくる最初の子音字を重ねて表すが、次にc hが続く場合には、cを重ねずにtを用いる。（日本 Nippon 湿地帯 Shitchitai）
- 4 表記が長く読みにくい場合はハイフン「-」で切る。
- 5 文の書き始め及び固有名詞は語頭を大文字で書く。なお固有名詞以外の名詞の語頭を大文字で書いてもよい。但しハイフンの次にくる文字は小文字を用いる。
- 6 原則として英文は、表記対象となる各施設、又は関係機関と調整し、決めるものとする。
- 7 施設名称は原則として正式英訳によるが、英語による略語がある場合は（表-2参照）それを使用してもよい。（地図中が煩雑になる場合など）
- 8 企業名などで英文による略語が慣用化している場合はこれを用い、日本語の音や正式英語を使用しない。（例：NTT）

表-2 略語（参考）

言語	略語
national	nat'l または natl.
prefecture	pref.
government	gov't または govt.
avenue	ave.
route	rt.
river	riv.
expressway	expwy.
building	bldg.
center	ctr.
station	stn. または sta.
university	univ.
department	dept.
television	TV

たびたび使用する語句

項目	和文	英文
出入口	入口	Entrance
	出口	Exit
	地下入口	Entrance to Underground
	地上出口	Exit to Street
方面、方向	～方面	To～
	至～	To～
タイトル	地域案内図	AREA MAP
	広域案内図	Surrounding Area
	周辺案内図	Local Vicinity
避難場所	広域避難場所	Safety Evacuation Area
	避難道路	Emergency Route